

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

作成日 2006/04/01

改訂日 2023/06/08

1. 製品及び会社情報

製品名	SHF-25E
会社名	株式会社ソディック
担当部門	CS事業部 サプライ業務課
住所	〒919-0598 福井県坂井市坂井町長屋78
電話番号	0776-68-0030
FAX番号	0776-66-8078
緊急連絡	0776-68-0057
整理番号	SDS-FL01-J06

2. 危険有害性の要約

GHS分類	人の健康に対する有害性:	区分に該当しない。
	物理的及び化学的危険性:	区分に該当しない。
	環境への影響:	区分に該当しない。

本製品は、一般的な環境下、また通常使用時では固体状態で物理的、化学的に安定している。
製品のままでは爆発性、引火性、自然発火性、人健康有害性は無い。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物(成形品)
化学名又は一般名	ワイヤー放電加工機用フィルタ(液体ろ過用フィルタ)

本製品構成部材は下記の通りである。

構成要素	成分・化学品名
メディア	化学繊維(ポリエチレン、アクリル系)
フレーム	鉄、ABS樹脂
結合部	NBRゴム
シール材	ウレタン樹脂
補強材	ポリプロピレン
スペーサー	ポリオレフィン

4. 応急措置

吸入した場合	・ 通常使用において吸入することは無いが、破片等吸入した場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	・ 常温接触では特に危険性無し。
目に入った場合	・ 通常使用において目に入ることは無いが、破片等目に入った場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	・ 通常使用において飲み込むことは無いが、破片等飲み込んだ場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	・ 水、泡、乾燥砂、粉末消火剤等周辺火災に適応した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	・ 特になし。
特有の危険有害性	・ 火災時には二酸化炭素、一酸化炭素、窒化酸化物等の有害ガスが発生することがあるので自給式呼吸器、保護手袋等を着用する。 消火活動は風上より行い、消火の際は状況に応じて保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

- ・ 個体で安定しており漏出はしない。
- ・ 個体で安定しており漏出はしない。
- ・ 破片等飛散した場合は一般の掃除用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意事項
保管上の注意事項

- ・ 製品に対する転倒、落下、衝撃を加えるなどの乱暴な扱いを避ける。
- ・ 火気厳禁。直射日光、湿気を避け、屋内に常温保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界値
生物学的指標等の許容濃度
設備対策
保護措置

- ・ 知見なし。
- ・ この製品は作業場において監視する必要がある成分は含まれていない。
- ・ 必要に応じて講じる。
- ・ 作業時に粉塵等が発生する場合は次の保護具を必要に応じて使用する。
保護手袋、保護メガネなど。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理状態)	円筒形の個体
色	黒色
臭い	なし
融点/凝固点	データなし
沸点/初留点及び沸騰範囲	個体の為なし
引火点、自然発火温度	データなし
燃焼又は爆発範囲	上限、下限とも知見なし
蒸気圧、蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	水に不溶

10. 安定性及び反応性

反応性	・ 通常の取り扱いにおいては安定である。
化学的安定性	・ 通常の取り扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	・ 通常の取り扱いにおいては安定である。
避けるべき条件	・ 直射日光、高温多湿、火気を避ける。
混触危険物質	・ 特になし
危険有害な分解生成物	・ 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素化合物及びその他有毒ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	知見なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	知見なし
目に対する重篤な損傷性 又は目刺激性	知見なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし

発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性<単回ばく露>	知見なし
特定標的臓器毒性<反復ばく露>	知見なし
吸引性呼吸器有害性	知見なし

12. 環境影響情報

生体毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし
土壌中への移動性	知見なし
オゾン層有害性	知見なし

13. 廃棄上の注意

- | | |
|-----------------|--|
| 安全で環境上望ましい廃棄の方法 | ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例、国家の規制に従い、許可を受けた処理業者に委託する。 |
| 容器、包装の適正な処理方法 | ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例、国家の規制に従い、許可を受けた処理業者に委託する。 |

14. 運送上の注意

国際規制	該当なし
国内規制	該当なし

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし
労働安全衛生法	該当なし

16. その他の情報

製品にはフロン、ハロン等の国際的に指定されたオゾン層破壊物質は含有しておらず、又製造工程においても使用していません。

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成したものです。その作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能品質を保証するものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。

- | | |
|-----------|---|
| 【引用、参考文献】 | ・ 材料メーカーのSDS
・ JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
・ JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) |
|-----------|---|